

---

# 観光

きなこ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

観光

### 【Zコード】

N9114L

### 【作者名】

きなこ

### 【あらすじ】

親子連れの観光客のはなし

「もし、そこあなた。すみませんが、あそこは、ええそりです。あそこのチカチカとした、キラキラ光るものを探つてくれださいませんか。

わざわざから頑張つてゐるのですけれど、私たちだけではどうにも探れやしませんので。」

ジョンの散歩をしていたら、変な親子に話しかけられた。

「えーと、あの、アレが欲しいんですか？あの光つてるアレ？」

「はい、やうです。ジャンプしても届きません。もしや、特別な採り方があるので」と相談していたところなのです。

「この土地の方ならば、存知かと思いまして。」

私が質問をすると、父親（らしき人）が恥ずかしそうに答えた。

恥ずかしそうにされても困る。だつてきっと、この親子が欲しいのは、星、だ。

「…………えーと、そうですね。探れません。」

「え？..」

「どんなにジャンプしたって探れるわけない。一体この親子はなにを

考えていたんだ。

「網とかでなんとかなりませんか?」

「無理ですね。」

「武士道では……」

「採れるわけないでしょーが!…」

「無理だと分かると、親子はとたんにじょんぼりした。」

私はなんだか悪いことをしたような気分になつたので、ポケットに入っていたコンペイトウを親子に差し出した。

その日何故ポケットにコンペイトウが入つてたかなんて聞くやつは野暮だ。

「これ、どういへ。」

差し出されたものを親子はしぐしぐと眺め、それから私を見つめた。

「頂けるんですか?」

「ええ、まあ。」

「あつがとハレコモアーーー。」

今にも踊りだしそうな雰囲気だ。私はコンペイトウで「こんなに喜んでもらえるとは思わなかつたので、困つた。

「それで……これはあそこのキャラキャラと同じものですか?」

もう帰りたい。

「ああ……そうです。似たようなものです。」

帰りたい勢いで嘘をつこうとした。

「へえ……す」「こですねえ」

なにはともあれ親子は嬉しそうなのでよしとしよう。

ジョンはもうすでにこの家族に飽きてしまったらしく、私を力強く引つ張り始めていた。

ちゅうどんのとき、母親（らしき人）が父親（らしき人）に「もう時間ですよ」とかなんとか囁いた。

「おや、もうですか?!早いですね!…ああ、それではあれを差しあげましょ。ほら、あれを出して。」

そう言って父親（らしき人）は息子（らしき人）を軽く促した。

すると息子は大切そうにポケットから小さな石を取り出し、私に差し出してきたので、私も恐る恐る受け取った。

「ああ、どうも、ありがとうございます。……………」

「?」

私が石から田を上げたときには、親子は消えてしまっていた。

「……………つ、 宇宙人？！？！」

「ワンーーー！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9114/>

---

観光

2010年10月14日18時02分発行